

新社長インタビュー 山口倫正シンクレイヤ社長に聞く

ケーブルテレビを情報インフラで支える

事業者と伴走して課題解決に取り組む

放送・通信に携わる事業者のソリューションプロバイダであるシンクレイヤ（名古屋市中区）は3月26日、山口倫正常務取締役技術生産本部長兼広報室長が代表取締役社長に就任した。前任の山口正裕氏は代表取締役会長に就いた。社長交代は、山口正裕氏が就任した1994年5月以来、約32年ぶりとなる。「電波タイムズ」は山口倫正新社長に抱負などを聞いた。



放送・通信設備「柱上型ミニサブセンター」

長を情報インフラ分野で支える、そういった会社を指していく。2つ目の抱負は組織力の向上だ。トップが考えている事業成長への考えを、従業員一同が同じ思いで実現できるよう取り組まなければいけない。その意味で組織力の向上は重要だ。

NEW PRESIDENT

新社長

「従業員が『幸せ』であることが大前提だ。抽象的だが、顧客とコミュニケーションを取る際、当社の社員がキラキラ輝いているというイメージを相手に持ってもらいたい。従業員が幸せであれば、顧客にしっかりと寄り添って仕事ができる。それが我々の付加価値向上にもつながる。当社の社是は『愛・知・和』、『愛』は仕事をしっかりと愛そう、好きになろう。『知』は、知識を研鑽して広げていくこと。『和』は互いに尊重し、融和を図っていくこと。従業員一同が社是を体現して、仕事に誇りを持って働けることが、従業員にとっての『幸せ』につながると思う。

「ケーブルテレビ事業者として、50Gbpsの超高速光インターネットシステムを提供し、日本で初めて商用化した。今回の『50G PON』採用により、従来の通信規格を遥かに凌ぐ高速化・低遅延化が可能となった。

「柱上型ミニサブセンター」は、建物不要で約2000世帯に高速通信を提供する新たな情報インフラである。情報インフラの構築を可能にする。導入コストや工期の課題を解決する新たな選択肢として活用できるという。

「集合住宅や大規模施設など棟内の光回線化をより簡単に。低コストで実現するデバイス『光スプリッタモジュール』を展開している。1本の光ファイバーケーブルで伝搬された光信号を複数の光ファイバーケーブルに分散する場合に用いる光受動機器で、設置作業現場での取り回しを第一に考えた機器デザイン設計により省スペースでの設置が可能。戸数の多いオフィスビルや集合住宅での活用が見込めるとも期待している。

「柱上型ミニサブセンター」が好評

抱負を。

「ひとつは事業規模の拡大。シンクレイヤは60年以上、情報インフラ分野でケーブルテレビ事業者に貢献してきた。業界を取り巻く環境として少子高齢化による加入者の減少や、AIをどう事業に活用していくかという課題がある。これから社会環境が変化して、情報インフラは成長に不可欠な分野だと考える。放送・通信に携わる事業者のソリューションプロバイダとして、地域に根ざしたケーブルテレビ事業者の成

「ケーブルテレビ事業者として、50Gbpsの超高速光インターネットシステムを提供し、日本で初めて商用化した。今回の『50G PON』採用により、従来の通信規格を遥かに凌ぐ高速化・低遅延化が可能となった。

「柱上型ミニサブセンター」は、建物不要で約2000世帯に高速通信を提供する新たな情報インフラである。情報インフラの構築を可能にする。導入コストや工期の課題を解決する新たな選択肢として活用できるという。

「集合住宅や大規模施設など棟内の光回線化をより簡単に。低コストで実現するデバイス『光スプリッタモジュール』を展開している。1本の光ファイバーケーブルで伝搬された光信号を複数の光ファイバーケーブルに分散する場合に用いる光受動機器で、設置作業現場での取り回しを第一に考えた機器デザイン設計により省スペースでの設置が可能。戸数の多いオフィスビルや集合住宅での活用が見込めるとも期待している。



山口倫正社長

「柱上型ミニサブセンター」は、建物不要で約2000世帯に高速通信を提供する新たな情報インフラである。情報インフラの構築を可能にする。導入コストや工期の課題を解決する新たな選択肢として活用できるという。

「柱上型ミニサブセンター」は、建物不要で約2000世帯に高速通信を提供する新たな情報インフラである。情報インフラの構築を可能にする。導入コストや工期の課題を解決する新たな選択肢として活用できるという。

「柱上型ミニサブセンター」は、建物不要で約2000世帯に高速通信を提供する新たな情報インフラである。情報インフラの構築を可能にする。導入コストや工期の課題を解決する新たな選択肢として活用できるという。

「柱上型ミニサブセンター」は、建物不要で約2000世帯に高速通信を提供する新たな情報インフラである。情報インフラの構築を可能にする。導入コストや工期の課題を解決する新たな選択肢として活用できるという。



開発拠点『SYNCLAYER building』

◇略歴 山口倫正（やまぐち・のりまさ）氏 1991年5月1日生まれ。2014年3月名古屋大学工学部卒。18年4月シンクレイヤ入社。23年4月経営企画室長。24年3月取締役経営企画室長。25年3月常務取締役技術生産本部長兼広報室長。26年3月代表取締役社長。35歳。愛知県出身。